百寮訓要抄別注二

1000
20

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

特1000
20

百寮訓要鈔別註巻之三

中務省　倭名鈔ニ奈加乃萬豆利古止乃豆加作ト訓セリ職員令集解曰釈曰、務、政也省、明也察也又云中務八詔勅之所通宣中之所要故次二官之後居七省前ニ云云　二官ハ神祇官太政官ノ二ツ　又云奈加乃司云云今中略シテ中務ト云ヘリ是ヨリ以下式部治部民部兵部刑部大蔵宮内ノ七省ヲ加ヘテ八省ト云ヘリ其八省ノ各條ノ中ニ職ト寮ト司トヲ被管トシ又被接トシテ本省ヘ管セストヲ云ヘトモ其司ノ類トクルヲ以テ省中ヘ接ヘ加フル官アリ当省ノ侍従内記刑部判官ノ

橘嘉樹言

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

類ナリ又流内流外トニ事アリ流内トハ假令ハ当省ノ卿ヨリ
以下録シテ本省ノ官属相当ノ位アルモノヲ云流外トハ内舎人或
ハ省掌ナト本省ノ官属ト云ヘトモ位階ナキモノヲ云ナリ此流内
流外被管被接ト云フハ八省ニ限ラス太政官ニモ又寮司等何レニモ
アル事ナリ大抵ノ差別如斯是モ又委クハ別ニ考アリ（此余異朝ノ流内流外等ノ別再ニ考アリ）省トハ禮舎ニ而景切禁署也本作宕或作閤今通作省ニ
漢書曰旧ト名リ禁中避テ元向諱改名ノ省中顔師古云省察也言ヘル
此中ニ者皆當ル察視不可妄也ト此義ヲ以テ漢ノ世ニ省ノ字ヲ以テ
禁ノ字ニ易ヘタリ又禁署ト云署ノ字常ニハ名記ニト訓シテ連
署押署又署名ナトニヘリ名シルシト斗訓シテハ禁署ノ義通セス
字書ヲ案ニ殊遇切部署又書也又官舎ヲ曰署ト國語署ハ位之表也
徐鍇曰署置ヲ之言罹絡ノ之若罘罳也ニ故ニ本朝ニテモ春宮ノ官舎ニ
署字ヲ用ニ主馬署主殿署ナトニ云也又名シルシトニヘルヲ用心ハ是又
其官ヲノ人名字ヲ記シテ其ニ言ヲ嚴ニスルヲモ亦羅絡スルノ義ナリ
因テ八省トニハ中務ノ卅一トシテ其他ノ七省共ニ禁中ニアル官署ト
ニ事ナリ職原鈔ニハ式部次下ノ大藏省ヲ省（ハブキ）ヲ宮内省マテヲ周
礼ノ六卿ニ擬シテ解アリ然ニ中務ハ中署ニ擬ヘ大藏民部別
省ノ如キモノト解アリ職員令ハ其義ナシ此書ハ唯八省ヲ次序

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

ニテ出サレメル事ニテ六卿ノ沙汰及ビ玉ハズ職員令ニ倣タルモノカ
按職原鈔ノ如ク六卿ニ准擬スレハ天地春夏秋冬ノ順次ナレハ
省ヲ中式民治兵刑大蔵宮内ナリ職員令ノ順次ナレハ中式治
民兵刑大蔵宮内ナリ今考ルニ職員令ノ治部ヨリ次ニ式部ニ次ク民
部ノ上ニ置モノハ其司ル事順次ニ叶ヘリ式部ハ國家典章ニ掛
リテ朝廷ノ法式ヲ掌リ治部ハ外國諸蕃ノ通信ヲ司リ外事
ノ礼儀掛リ故式部次ニ其義叶ヘリ民部ハ民庶ハ国ノ基ナリ
上ニヘトモ式部ノ内外文武ノ典事ニ預リ治部ノ外藩ノ通信
天地ノ祥瑞等ヲ考ヘ治ルノ大ナルニハ及サルモノナリ去レハ此
順次ノ事ハ其書ヲ選ル人ノ意存ニ任スル事ニテ中務ノ外
強テ甲乙アル事ニ非ス其棠リノ有実無実ト任スル人ノ尊
早アル事ニテ卿輔丞録ニテ順次ノ次券一ナラス或ハ卿ハ式
兵治民ト列シ或ハ輔ハ治兵刑宮ト列スル事モアリ官職秘
抄ニ詳ナリ然トモ今其官踊ヨリシテ云フトキハ職員令ノ書
ニテ中式治民兵刑大蔵宮内ト称スベキモノナリ
此省ハ詔勅宣命カ、ルモ宣旨ヲ沙汰スル弁ノ官ノ印本此省ト云
上ニ勅ノ一字ヲ衍ス書ス削ルニ又竹ノ治ニ作ルハ非ナリ可改
職員令審署詔勅文案ヲ受事覆奏シ宣旨労問受納上

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

表ヲ監修シ國史ニ云ヘトアリ義解ヲ案スルニ公式令詔書ノ式ニ依ルニ日ヲ御畫ヲ者留中務省為案別ニ写テ一通ヲ印署又勅旨ニ依テ勅ヲ受ル人宣送中務省覆奏シ訖テ依式署トアリテ何月幾日ト云日ノ上ノ日数ノ字ヲ震筆アルヲ御畫ト云其宸筆アル宣旨ヲハ当省ニ納メテ別ニ一通ヲ作テ施行スル事アレハ納ルト云ヘル方可ナリ其余ハ職員令一文ニテ明ナリ人ノ位階ノ記ヲモ氏ノ下ニ注サルヘシ一本記ノ上ニ位ノ字ヲ加ヘテ位階ノ信記ヲモアリ印本ノ位階ノ記ト云方是ナリ打重テ位階ノ位記ト云ニハ及サルナリ其全文面ニテ支明ナリ

不及注

卿　相当ハ正四位上ナリ職員令集解曰釈曰卿明也自慮通ヲ以其章明臣道ヲ故謂之卿也倭名抄曰長官省曰卿和名加美ト云次下七省ノ卿皆同シ此卿ノ掌ル所ハ侍従献替ニテ礼義ヲ賛ケ相事ヲ職トスルナリ侍従献替ノ下ハ大納言ノ条ニ注セルカ如シ

親王　仕ヘマツル官ニテアレトモ不及注ナリ親王ヲ以テ官位令親王三品四品大納言太宰帥八省卿ニ云ヘル職原抄曰中務ノ親王任之ト云ヘル親王四品以上臣下未任之ト云ヘル親王

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

ミノモ無品ノ向ハ是ニ任セス当卿親王ノ任ニ定ソテ臣下任セサル
ト云事ハ中古以来ノ事ナリ　後ニ中古トハ淳和
ノ任シタル事　惟ニ国史ニ見ヘタリ　帝仁明帝ノ頃ヨリ　其ヨリ上ニハ臣下
続日本紀慶雲二年十月己卯以テ正四位上小野朝臣毛野為中
務卿日本後紀延暦十八年六月己丑以中納言従三位和気朝
臣家麻呂為中務卿
続日本後紀承和二年二月丙戌従三位源朝臣定為中務卿
美作守如故云云
又親王ヲ当卿ニ任セラル、ハ淳和天皇第一皇子　品恒世親王ヲ

中務卿ニ任セラル、事鈔運録ニ見ヘタリ是ヨリ前ハ不見ナシ又
其後仁明太皇第二皇子　品宗康親王ヲ嘉祥二年正月庚辰
為ス重中務卿太宰帥如故ト憶日本後紀ニ見エ夫ヨリ後ハ往々親
王ヲ中務卿ニ任セラル、事鈔運録ニ見ヘタリ且臣下ノ当卿ニ任シ
タルハ此後不見ナレ然ニテ親王ヲ任セラル、ニヨリ臣下ノ任官ヲ
止メラル、事国史又格文等ニモ不見ナレ共延暦天暦ヨリ
後ノ制ナルベシ

大輔　相当ハ正五位上ナリ是中務ノ次官也倭名抄ニ次官省
輔有大少云云　以下七省皆同之職員令曰掌同ク卿唯規諫不ニ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

献替ニトテ忠ヲスヽテ君ヲ正シ義ヲ以テ主ヲ匡(タヽス)ヲ規諫ト云ト義解ニ見ヘタリ然シテ献替ノ事ヲ得サルナリ（献替ノ支ハ上ニ見ユ）又上﨟ノ職掌板ノ時ノ補入ナリ二前如何トナレハ此書ノ例官員ヲ記セス若可記事アレハ其條ノ本文ニ其事義ヲ記セラルヽノミナリ（其事妻ノ神伯ノ条ニ見ユ）又權官アルモノハ別則權頭(アテラ)シテ記セラル（此事モ亦神祇大副ノ条ニ見ユ）然ルニ此条ニ權大﨟ノ事ヲ脱セラレタルニヨリ是モ亦後人ノ加筆ナリ依テ前之又別則書例ニ類シテ文ノ終リニ補書スルナリ

殿上地下并雲客諸大夫ニあるもの（ママ）ゝ仍之一本地下ノ下ニ此字ヲ脱スヽ補ヒ入ヘシ殿上ト昇殿ヲ聴ス人地下ハ未昇殿セスヲ云雲客トハ公達以下名家等ヲ云是雲ノ如ク多キ心又ハ禁裏ヲ天ニ比シテ雲上トモイヘハ四位五位ノ間ヲ称スルナリ諸大夫多クハ地下ナリ去レ共昇殿ヲ聴リタルモアリ規模上ル事ナリ官職秘抄ニ殿上地下ノ公達多ク任ニトアリ職原抄ニ名家ノ殿上人任之トアリ

昔ヨリ地下ノ諸大夫ナト人省ノ輔小侍ノ事ヲ先述ヌルカ如ク他本ニヨツテ補入ル無クテモ可ナリ此

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

ニ昔トアルハ言ヲ儲テ称セラレシナリ中務ハ八省ノ中ニモ任重シ故ニ相当モ少輔以上稍高シ然ルニ近代地下ノ諸大夫ナト向ニハ省ノ輔ニ任スルモノアル事ヲ歎息アルノ文ナリ官職秘抄ヲ案ニ当省ノ輔ハ殿上地下ノ公達多任之トアリ治部以下ハ地下諸大夫モ亦任之トアリ是ハ御門院正治ノ頃ノ事ナレハ此書ノ撰述ノ時当時ヨリハ近代ナリ其比イマタ地下ノ諸大夫ナトノ当省ノ輔ニ任セン事ハナシ妄ヲ以テ言ヲ苟ニ慎テ歎息ノ玉フ事ヲ知ルナリ

今ハ法ツ礼ヲ忘ル、ノ者共ト、地下ノ諸大夫

仍諭侍ニ至ルマテ任スルト云事ニテ此頃ハ武家ノ侍モタノミ八省ノ輔諸寮ノ頭等ニ任セラレユヘナリ

醫陰五道ノ官ノ如キハ短模ニ似タル官之当代モ醫陰ノ官ハ必ス省ノ輔ノ申任ノ事多シ是短模ノ官号ナレハニヤ此以下文義ノ如シ強テ不及注

権大輔　本書脱スル今以下七省ノ書例ニ周テ是ヲ補ヒ加フルナリ

掌事相当共ニ大輔ノ如シ任スル人モ同シ以下ノ権官皆子細同キハ不注ナリ

少輔　相当ハ従五位上ナリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

任ずる名用大輔ニ同シ（任ズル人職掌共ニ大輔ノ条ニ注ズルカ如シ）

大ク中務ノ繁ヲ省キ中ニモ其ノ親模ニテアルヨシ云々

文ハ仁寿ノ通ノ裏ヘタルヲ勤シ玉フナリ職原抄ニ中務ハ省中相当已高シ然而於大輔少輔名家不執之トアルト同ク弘仁中蔵人ヲ置カレシヨリ汉来其職掌名ノミニテ短模ナキ官ナルユヘニ名家ノ人ナトハ当省ノ輔ナトヲバ不執之却テ治民兵部ナトヲ任スルナリ（治民兵ナトヲ執スルハ五位ノ蔵人ニスルノ喩路ナル故ナリ）旦ハ省ノ中相当已高トアルハ卿ヨリ少輔ニテナリ亜汉下ノ相当ハ他ノ七省ノ卜替ル事ナシ

権少輔　本書脱ス今補ニ入ルナリ

侍従　相当ハ従五位下ニテ中務省ノ被接ナリ（被接ノ事ハ下ノ内記ノ条ニ注ス）官員八人ニテ此中三人ハ必少納言是ヲ並ル職員令曰侍従ノ職ハ掌ル常ニ侍リ規諫ヲ拾遺補ヲ翔トテ常ニ天子ニ近尺シ奉リテ君上ノ遺志ヲタヽス事アレハ其事ヲ拾ヒトリ又獻可ノ翔ヲ所モハ夫ヲ補ヒヲサムルナリ大抵輔ノ規諫スルト同ク小事ナリ納言ヲ省ノ卿ノ如ク獻替ノ事ニハ与ラサルナリ

今ハ八人ヲヘテヨリ遺ス残ル所ハ補ふの官なり

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

汉上上ノ注ニアリ

日野勧修寺儒家ともいふべし日野流ハ名家勧修寺流ハ諸
葛ノ上任ノ字ヲ脱ス補ヒ入ヘシ日野流ハ名家勧修寺流ハ諸
大夫家ナリ儒家ハ菅江ノ二流ナリ（江家ハ今家系絶タリ今ノ大弁ノ条ニ注スルカ如シ）

世清原家舁殿ヲ聽テ是モ亦儒家一列也古ハ日野勧修寺
又儒家ノ人ニ侍従ニ任スル事ハナリ公達家ノ人ニ斗任セシ当
時ハ申ニ任セテ任（カ）セラル、事ニ成タルハ早竟当官ノ掌リ蔵人
ヘウツリ実ナキ官ユヘナリトノ義ナリ

昔次侍従トテ節會ニ等ノ人ヲ召ス亦今ハ云ヒ定ナ

卯本次侍従ヲ擬侍従ニ作ルハ誤リナリ擬字可改次近衛式部
式云允侍員百人為限正侍従八人在此員中ニ納言汉上奉勅任之（若不在此輔汉上任之）其名簿付省其正侍従任
者雖無闕擬為次侍従云云次侍従ハ侍従次（ナミ）トモ云ヘリ侍
従　職ハ掌ラストモ侍従准シテ禄ヲ賜ルナリ何ヲ故ニ侍
従准ラヘテ禄ヲ給フナレハ侍従ノ官ハ規諫拾遺補闕ヲ常ニ
子ニ咫尺シ奉リ又其餘ニ諸參ノ和奏法會ノ堂童子等ニ供
奉スルノ儀モ侍従ノ職業ナリ然ルニ正侍従ハ其員八人ヲ三人ハ
必ス納言垂之又大中納言參議モ垂任スル事アレハ規諫補

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

綱等ノ重キ事ハ正侍従ノ任ニテ其余ノ職業ヲ勤セシメ方
為ニ次侍従ヲ任セラル、ナリ是四位五位ノ人ノ任ズル事ナリ
内舎人　九十人ナリ　仰本十九人ト小書スルハ九十ノ錯盃ナリ嵯峨ノ
朝ニ一百廿人ノ事ナリ是ハ中務ノ流外ノ官ニメ帯剣ノ職ナ
リ職員令曰内舎人九十人掌帯刀宿衛供奉雑使若駕行
幸分街前後ト云云是ニ任ズルモノハ四位五位人ノ子或ハ孫ナト年ホ
一汉上ニテ才器ハ撰レタルモノヲ撰テ召仕ル心ナル毎位毎官ナリ然レ
ドモ其才器応レテ高位高官ニモスヘエ又大臣ニモ成ル人アルナ
リ然ルニ近喜汉後此儀絶テ諸家ノ侍任之多リハ臨時ノ内
給或ハ院宮ノ二分代大臣ノ別給等ニ任スルナリ官職秘抄ニ往
代汉大臣子息任之ト云ヘリ令ノ定ル所ハ九十人ニメ大同三年正月廿四日四十人ニ
定テレ又近衛院ノ久安ニ六十人ヲ汉テ員ヲ入ヘキヨシ宣旨ヲ下サレシ
カトモ其後ハ百人ニ満ル事モアリテ源平ノ武士ナド多ク内舎人ニ
任ズル心ナリ故ニ藤家ノ人任スルハ是ヲ藤内ト呼ニ源家ノ源内平家
ニ平内ト云習セシヨリ当代内舎人ニ任セル、モノモ藤内源内等
ニ称スルニ至レリ源内兵衛平内左衛門ナトニハ内舎人ニテ兵衛
衛門等ヲ重任シタル人ナリ
異朝ニテハ中舎人ト云ヘル心ガ太子ノ弾忠ト云ル力アリシトキ改テ内舎

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

人ト云ヘリ 真内舎人ン 又字ヲ直ニ内舎人ト号スルナリ ウドチリト
内ニ殿居(トノヰ)スル人ト云義ヘ
是ヒ童殿上(トノ)ヘハ昔ハ壹上地下ノ出殿(デトノ)ナド定
マラス 童ノ向内豈所ニ召集ラレテ宮中ノ雑事ニ労ハルヽナリ是
即内ニ生ヒ立ヒ成人元服スレハ 真ト戈ニヨリ家ヲ官位ノ中ヤ
リ(ハナ)出(イデ)ヽ内真人ニヨリ 真雖用ニ擾(トリ)テ内舎人トシテ召仕ルヽモアル
ナリ豈内豈所ノ別当ノ撰ニ任セラルヽ事ナリ
むかし武男をもつてをさめ内舎人をもつて従業(ことわざ)にせしが
侍ヲ以テ内舎人ニ補セラルヽハ 応喜案ニ上古大臣ノ息ヲ始トメ

四位五位メル人ノ子孫ホノ来タ不冠モノヲ撰テ召仕ハレシ故ニ鎮守府
又秋田等ヘ下シテ武事ヲ習練サセラレシナリ是内舎人ハ宮中侍
衛ノ為ニサシオカレシ故ナリ 當(まさ)に此事國史ノ粗見ヘシ(ママ)喜樹未ダ所見ナシ
後日ニ考ヘ正シテ國史ノ所見ヲ注シ入ヘキモノナ
今ハ為ヽ此事ヲ 応喜案ニ侍ヲ以テ仕セラルヽハ 延喜式ニ
ハ源平両家ノ武士モ交ヘ補セラルレハ坂東下リノ、ニモ及ヒザル故ナリ
是ヒ古代ノ式ノ廃絶シタル故ナリト又世ノ形状(サマ)ヲ書玉ヘルナリ
ほうこえ服をきて殿上のふくろなくは当門舎人ぞ 殿上ニ日
給ノ簡アリテ四位五位六位ト名薄ヲ三段ニワカチテ上ヨリ注ス
ルナリ 此ニテ内舎人ハ位階ナキモノト云ヘトモ 蔵人其名薄ヲ録シ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

テ上日ヲ考ヘヒナリ是迄喜汉後ノ内舎人ノ支ナリ

又下臈ヒ門舎人ヌハ成ヌリ此下臈ハ侍ヲサシクメルナリ公々雲客等ノ官位ノ臈ニアラザルナリ

内記局　中務被接ノ官ナリ職員令曰掌造詔勅ノ仁御所ノ記録ノ事ナリ職原抄ニ云儒門之中堪文筆者任之草詔勅宣命ノ故也

（追考ニ式令御抄ニ詔勅ノ造ニ詔書勅言ノテリ大事ヲハ詔書ニ造リ小事ヲハ勅書ニ作其作ヤラハ各式令ニ見ヘタリ云々）

詔勅ハ詔ハ御言則ト訓シテ天子ノ叡慮ノ旨ヲ書リモノユヘ是ヲ詔書ト云勅ハ勅書ナリ即チ宣命又綸旨ト云ヘル是ニ勅ハ教ニテ使ル也ナリ是叡慮ノ趣キヲ書ヲ玉フノ書ナリ左傳注勅ハ執競也ニ教令ナリトテ俗ニ云侭セ書ナリ詔書ト云ヨリハ乃ロキナリ去ヒ尼共ニ叡旨ヲ書クモノユヘ詔勅ト連子云ヘリ令條ニ御所ノ記録ノ事トアルハ集解曰釈ニ止作ニ至尊也不涉三台也上ノ内記叡慮ノ書ヲ草スルモノユヘ太政官ヘハアヅカラザル上云支ナリ

（集解ニ三台トアリ治ハ台ノアヤマリナリ）

三台トハ三公ヲ云ヘルナリ即チ太政官ノ事ナリ

中務省　被管也即本管ヲ云官ニ作ルハ非ナリ改当官ハ侍従ト曰ヒ中務ノ被接ナリ本文被管ニ作ルモノハ前ニ云フ力如ク俗中通ノ被管ト称メ被接ト云事ハ耳則レサルガ故ナルヘシ職原抄云儒門之中堪文筆ニ着任之草詔勅宣命ノ改也上下諸人位記表内記ニ奉行也故ニ雖為中務ノ被接別ニ内記局

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

職原抄ノ印本ヲ亦誤テ被接ノ作ニ被管ト云ハ各其官舎アリテ其ニ又長官次官判官主典等ヲ分テ掌レリ然ニテ其職掌ハ本省ノ流内ナルカ故ニ凡テ本省ニ管ラルニヨリテ被管ト云ナリ又被接ト云ハ其職掌本省ノ指揮ヲ受ザレ共其類ニ非レハ同ク本省ニ被接（ナルニ）ト云事ナリ凡官位ノ分別セルニハ流内流外被官被接ト云事ヲ矣セサレハ諸官トモニ其掌リノ節令ヲ明カナラヌモノナリ

詔勅宣命 詔書ヲ詔勅トアルヨリ詔勅ノ事ハ前注流内被管ノ考ハ予則ニ編出アリ仍テ畧于此

スル凡テ御所ノ公文ヲ此ニ云ヒ取アツカフ

大内記 一人相当ハ正六位上ナリ

詔勅宣命ヲ草スルヲ掌ルトアルヨリ詔勅ノ御代ニテモト云事ナリ隋代ノ儒者ト云事ニモ非ス

故実多ク仁ナラハ任セラレ次ニ國語曰故実ハ故事ノ是ナルモノトテ古代式法ヲ考ヘ知ル人ヲ故実ノ人ト云ナリ

今ハ儒家諸大夫ナルヲ以テ也一本儒家ノ諸大夫トアリ不可ナリ是ハ儒家ト諸大夫家ト云事ナリ当時菅家ノ流斗大内記ニ任セラル

桂下頒林百寮訓要抄ニ此書今ナシ本朝書目ニモ不見ナシ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

内記ヲ柱下トシテ事文類聚曰周御史掌万民之治令之
賛ニ一家宰ノ九治者受法令ヲ為ス其在殿柱之間亦謂之柱下史
老聃為柱下史秦改ヲ為侍御史ト
少内記　二人相当八正七位上ナリ
庫ニ蔵ル大内ノ諸ノ物ヲ
監物局　中務被接ノ官ニテ諸司ノ物ヲ出納スルトキ典鑰ノ官
諸司ノ鑰ヲ持用シテ其ノ庫蔵ヲ開クトキ共ニ其所ヘ趣キ監
察ル官ナリ故ニ旦毎ニ典鑰ト各ノ諸司ノ庫蔵ノ管鑰ヲ請
ヒテ又タ部ニ八其管鑰ヲ進ルナリ昼俗ニ云立合ト見分ル目付
ノ如シ故ニ職員令ニ云掌監察出納請ヒ進ル管鑰ニ義解ニ云昼庫蔵
管鑰也其諸門ノ者闈司掌之ニ猶委ノ如キ喜典鑰式ニアリ合
セ見ルベシ和訓ヲ於呂之毛乃ニ司ト云

倭名抄ニ和訓ナシ

笏ヲ執ルヲ以テ印本所字ヲ脱ス補ヒ入レ
掌ル上ニ云義ニテ納メ置ク事ニハアラス
大監物　二人相当八従五位下ナリ
受鑰鈐印ヲ使符飛駅ノ函ヲ事ヲ掌ル此品ノ事ヲ掌ル
トアルハ此品ト云監察ル事ヲ云ヘルニヤ細カニワカツトキハ管鑰ハ吏

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

鑰掌リ鈐印使符飛駅亟等ノ事ハ主鈐ノ掌リナリ猶委
ク延喜主鈐式アリ合セ見ルヘシ職員令延喜式職原抄等
ニモ件ノ品々ノ掌ルトコ事ハ見エス全ク監察スルヲ略文ニモ
モノカ若リハ書記スルモノ本文ありもせ下ニ監察ノ二字ノ脱ス
ルモノナルヘシ

按ニ監物ノ次ニ主鈐典鑰ノ二局アルベキナルヲ洩シテ記シモ
ザルモノハ当時ニ官共ニ廃官ノ如ク任ズル人モナキユヘニ筆
ヲ闕モ主ヒタルヘシ職原抄ニモ主鈐典鑰ノ二官近代漏ケヌ
任ゼシトアリ是ヲ以テ其任セル人ノナキ事ヲ推シ考ルナリ

故ニ即本職原抄ニハ監物局ヲ一字上ケテ書キ六位侍任之トシ
テ又主典ヲ記シ（主典ハ今ノ外ノ官ナリ）又主典ノ並ニ主鈐典鑰ト連子書
テ自然ト官列ノ混乱シテ即行セルハ当時任ズル人モナク名
モ実モナキニヘナリ然ルニ近世ハ位記ニ即奪即ヲ加ヘラルル支
アルヲ以テ内竪頭タル渡邊出雲守カ家故アリテ御璽ヲ
預リ掌ルニヨリテ世々主鈐ノ並官トシテ少納言ニ属シテ（ワヅ）ツカ
ニ其掌リヲ存スルナリ且典鑰ノ事ハ当時ニ両沙汰ナキ
事ニナリタリ

太皇太后宮職　中務ノ被管ナリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

太皇太后宮ト称シ奉ル帝王ノ御祖母ヲハ皇太后宮
ト称シ御妻ヲハ皇后宮ト称シ奉ルヲ以テ中宮ト称
シ奉レリ故ニ職員令ニハ中宮職ト挙テ三皇后ノ職官ノ事
ヲ書記アリ義解ニ中宮職ハ皇后宮其太皇太后皇太后
宮ニ亦自ラ中宮也トアリ又中右記ニ長承三年三月十九日明法勘
云帝祖母謂太皇太后帝母謂皇太后此三后惣名
中宮上云ヘル二ノ明ナリ然ルニ桓武天皇御宇御母ヲ尊シテ別ニ
宮ト称シ其職官ヲ置玉ヘリ是三后ノ外ニ中宮ノ称ヲ立玉フカ
始ナリ其ヨリ後一条院御宇ニハ御内大臣伊周公ノ御女定子ヲ

皇后ニ立テラレ又宇治関白頼通公御女彰子ヲ中宮トシ二宮ヲ並
ベ置ヲ共ニ御妻ノ例トシテ二宮ヲ置レタリシニ白河院ノ御時
其儀不可ナリトシテ是ヲ止ノ玉ヘリト云ヘリ職原抄ニ太皇太后
宮職皇太后宮職皇后宮職ト並ベ書シテ以上溺之三宮和漢同之
ト書キ次ニ中宮職ト挙テ大夫以下ノ官属ヲ注シ太皇大后以下
ノ三后ノ宮属ノ事ヲ重テ子テ書記アリ然シテ此書ニハ太皇太
后ト挙テ以下中宮職ニテノ事ヲ重テ注アリ是文躰ヲカヘタルノ
ミニテ其義ハ同シ事ナリ
是ヲ以テ一ノ后モアリ四ノ后妃ノモ在ル人之ヲ我ノミ此文解シカ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

タレ太皇太后ト称シ奉ル天子ノ御祖母ナリ又皇太后ハ天子ノ御妻ナリ（上ニ注スル如クナリ）然ルニ爰ニ并ノ后成王ヲトシ又后妃ノ至極ノ人成王ヲトシ云ヘハ共ニ皇后ノ御方ノ昇進シテ右ノ如ク称セラルニ似タリ 喜村舊記ニ誤（アヤマリ）ヲ考ヘカヘ

ト云ヘトモ猶（ナヲ）更当代ノアリサマヲ以テ考ルニ立太子ノ宣下アルハ其（ソノ）ト称シ奉ル或ハ立太子ノ東宮ノ御世ヘ立后 宣下アリテ尊号アルナリ其時先帝ノ御世皇太后ヲ在ス（マス）ト云ヘトモ皇后ト称シ奉ル事流例ナリ其宣下ナリ不（ヌ）側（トキ）ニ践祚在ス皇子ノ御世ヘ皇太后ノ宣下アリテ尊号アルナリ其時先帝ノ御世皇太后ヲ在スアルハ其度ニハ太皇太后宮ノ尊号ヲ奉ル事流例ナリ其義ヲ以テ考レハ第一ノ后トアルハ皇太后ヲ作シ若ニ后妃ノ至極ノ人ト挙ケ玉フモ是亦皇太后ヲ作シ玉フモノカ此文愚案及ヒカメシ

天子ヲ以國毋（ハヽ）命（ミコト）祖毋（ハヽ）ナトノ宛（アテ）名（ナ）ノ後成（ノチナル）モノカ此後モ上ニ演（ノヘ）加（クハヘ）如（ノ）ク解スルヲ得ス愚案ヲ以テ云フトキハ天子ノ國毋ノ御祖成玉フトキハ必太皇太后ノ尊号ヲ奉ラルヘキニ高宛（タカアテ）ノ後ヲ待テ成玉フニハアラス此一條ハ唯当代ノアリサマヲ以テ僻案ヲ述ヒテナリ文義ノ解シカタキニハ非ス凡ソ本文ノ趣キハ太皇太后宮職ト題シテ太夫下ノ職掌ヲ挙ケ玉フ上其官号ノ事ヲ解センカ為先（マヅ）始ニ太皇太后ヲ以下ノ三后ノ子細ヲ書玉フモノナリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

大夫　一人相当ハ従四位下ナリ職員令ニ大夫一人掌ト宣ヒ納ル(スル)啓令ウ
事ノ上ヲテ禁中ニテ納言ノ職ノ如ク后宮ヨリ令シ玉フ事アレハ
下ヘ吐(ト)下ヨリ啓上スルヲアレハ夫ヲ上ヘ納ルヲ掌ルナリ四宮共ニ皆同
シ倭名抄ニ長官職曰ニ大夫ト和名加美是后宮管領職ニテ凡ソ事皆当
官ニ次スルナリ

皇后宮大夫一人　文面ノ如ク別ニ不及解且
皇后宮ハ聖武天皇御宇天平二年九月従四位下小野朝臣牛
養始テ当官ニ任シ又桓武天皇天応元年五月乙亥始テ置中宮
職(ヲ)又参議宮内卿正四位上大伴宿祢伯麻呂為ニ兼中宮大夫是
則中宮大夫ノ始例ナリ
執柄ト云家ノ人ヽ皆ヲ他人ノ仍事ナリ職原抄云名家雖有
其例不ト任事也トテ必シモトニ云事ニアラス邂逅ノ支ナリ又官
職秘鈔ニハ諸大夫補例恭憲(ウヤマヒノリ)トアリ是亦々々ノ義ニテ必ス任セラ
ルヽ事ニアラサルナリ壷井先生ノ職原抄ノ注ニ名家ノ例ニ伴ノ
恭憲ヲ引キ挙ケラレタルハ不審(イブカシ)キナリ
后宮北門ヲ管領ヲ云ナリ　上ニ注ス文面ノ如シ別ニ子細
ナシ
公卿大納言ヨリ此ニ大臣迄

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

大納言マデノ並官ニ任セラルヽトヽ云ヘリ官職秘抄ニ可出
上達部任之トヽリ

権大夫　一人相当ハ上ニ同シ
是モ大夫ニおよ(ママ)ヘテ文面ノ如シ不及注

亮　一人相当ハ従五位下ナリ倭名抄云次官職曰亮（和名須介云亮）
字ヲ須介ト訓スル事亮明朗也又導也廣韻相也助也トアリ
依テ須介ト訓用スルナリ掌ル事大夫ニ同シ中宮亮ノ始ハ桓
武天皇天応元年五月乙亥従五位下大伴宿祢弟麻呂初テ
任之又皇后宮亮ハ同御宇延暦二年四月丙寅近衛少将
従五位下笠朝臣名麻呂為並亮ハヽ云云

四位ノ殿上人ノあるあるも　如文面不及注

権亮　一人相当ハ上ニ同シ其余皆ル事ナシ

大進　一人相当ハ従六位上ナリ倭名抄云判官職曰進（和名戸豆）
掌ル事職内ヲ糺判シ属ヨリ勘造スル文案ヲ審察
シテ署ヲ加也文案ハ文ハ外ヘ施行スル文書ヲ云案ハ職
内ニ(ヲ)置(ヲク)ヲ云ナリ倭ニ云ヲ控(ヒカヘ)ト云ヘリ是当官ノ改人ナリ大進
ノ初例ハ是モ天應元年五月外従五位下伊勢朝臣水通(ミチ)為ニ
大進ト云ヘリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

名家の五位の人ハ皆よ任職原抄三ハ清大夫五位六位任之ニ又
官職秘抄四位進例アリ始自ニ源良ト云ヒ
四位ヲ叙ラル時ハ皆ヨ五位ノ大進四位ニ叙スレハ大進ノ
官ヲ去ル是流例ナリ官職秘抄ニ四位ノ大進ノ例アレモ
是ハ廻近ノ事ヲ四位ノ人大進ニ任シタルナリ五位ノ大進ノ
叙留セラレハアラス
印本権大進大進ニ同シ トアルハ非ナリ大進ハ権官ナシ
少進 二人相当ハ従六位下ナリ
地下ノ五位ヲ云ヒ近代ハ任次ノ如シ不注

権少進 一人相当ハ上ニ同シ
六位ヲ云 印本権少進ノ下ニ注スルハ非ナリ改メテ今文
書スヘシ
凡大皇太后宮 皇后宮中宮皆后ヒトリヲ云
注ニ宮ノ支ハ前注ス印本給フ下事ノ字ヲ脱ス補入ヘシ
大夫 ヒトリヲ云 太皇太后宮モ皇太后中宮モ其御方
ノ在ス所ニ従テ大夫ノ下ノ官属ヲ置ル其官ノ名目任ナルノ人相
当共ニ皆同シトヲ事ナリ然レハ四宮ノ中ヶ皇后ト中宮トハ其司
ヲ殊ニ清撰ナリ職原抄ニ中宮皇后宮之司ヲ撰其人ヲ太

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

皇太后等ノ宮司强テ不請撰但可依時事也云云 嘉樹案清当為「猶カ」皇
后中宮ハ共ニ天子ノ御妻ナレハ齢モ若フシテ容儀艶色在ス業
平朝臣ノ二條ノ后ニ密通ノ類其外モ不敬ノ行アリシ例ア
ハ大夫以下ノ官殊心ヲ労スベキ事多シ故ニ殊ニ精撰ト書玉ヒシ
ナリ又可依時ナリトハ太皇太后皇太后ニテモ齢タケ玉ワズ
シテ此尊号アル事モアレバ其時ハ皇后中宮ト同ク官属ノ心ヲ
労スベキナレハ是亦精撰タルヘキトノ事ナリ
后后ニをのこぬ时ハ兩そあるも 后トハ三宮共中宮
ヘカケテ云ヒモノナリ是文面ノ如シ不及注ナリ

○大舎人寮 中務ノ被管ニテ大舎人ノ集ル官舎ノ名ナリ拾芥抄
ニ云大舎人町鷹司北靭負東半町土子西也トアル 大舎人トハ
六位以下八位以上ノ子或ハ孫ノ年廿一以上ノ人ヲ撰テ召仕ヒ其
勤仕ノ事ハ行幸アレバ供奉シ宮中ニテハ駈使トテ 雑事ニ役
セラレ又垂川 諸司ノ火鑽ノ事ヲ知ル職ナリ其後ハ延喜大
舎人式ニ委シク見エ侍名抄ニ於保止称利乃豆加佐トヘリ火ト
ハ内舎人ヘ對シタルノ大ナリトノ子ナリトハ宿ノ直人トヘ云言ノ轉称
ナリ古ハ左大舎人八百人右大舎人八百人アリテ宮中ニ宿
直シテ警衛駈使ノ雑事ヲ役ス仁ニ大舎人ト称セシナリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

大弓三七十二指二左右凪二弘仁十八七六ノ格二減定、大舎人数、
為二四百人一当時ハ大舎人ト云モノ唯四人ナリ是四百人ノ百分
一ナルモノナリ寮ト云ハ官舎ノ事件ノ大舎人ノモノ、集
ル所ナリ左傳文公七年ノ傳ニ同官ノ為ニ寮吾ガ掌ヲ同寮敢テ
不盡心乎又傳穀洛郝賦菜服朝正官寮ノ兵ニ方位ト云
ヘリ是皆寮ハ官舎ノ義ナリ凡諸寮ニ大寮小寮ト云ア
リ手大小ニヨリ相当モ高下アリ又其ニ大少ノ差別并
権官有無アリ各々其寮ノ条ニ注スト云ヘトモ先其大小
寮ヲ分ツ事左ノ如シ

大寮　大舎人、圖書、内蔵、縫殿、内匠、雅楽、
玄蕃、諸陵、主計、主税、木工、左右、
馬、兵庫、以上十五ハ大寮ナリ頭助允
属、相当皆同シ
小寮　陰陽、大炊、主殿、典薬、掃部、以上五
五寮ハ小寮ナリ頭助允属ノ相当モ亦皆
同シ

並ニ春宮寮ハ大小寮ノ外一寮ナリ故ニ相当或ハ大少ノ
属稍大小ニ異ナリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

又次下諸寮共ニ此書頭助マデヲ挙テ允属ノ名目ヲ
減シ玉ヘリ今案ニ允属ノ相当ヲ賛注ニテ大小寮ノ過
差アルヲ見ルニ便トス且允属ヨリハ分チ見ルニ便リアシ
キユヘ頭助ヲモ兼ニ書スルナリ

大寮　頭（従五位上）　助（正六位下）　允（大正七位下 少従七位上）　属（大従八位上 少従八位下）　権官相当

小寮　頭（従五位下）　助（従六位上）　允（大少共ニ従七位上）　属（大従八位下 少大初位下）　八正官ニ同シ

斎宮寮　頭（従五位下）　助（正六位下）　允（大正七位下 少従七位下）　属（大少共ニ従八位上）

宿直のことをつとむる　史生ヲ令ニつとむる　此文ニ大舎人ノ頭ノ掌也
次ノ頭ノ条ヘ加ヘテ見ルベキモノナリ仍テ妻ノ頭ノ条ニ注ス

舎人の時従卿をあるゝハ大舎人の役なり是ニ大舎人ノモノハ
奉仕スル事ナリ大舎人式曰九元正着六位以下ノ官四人史生又
将テ舎人一百三十六人ヲ左右分テ頭各執威儀物ヲ入テ自ニ東西廊陣列ヘ
大極殿前庭近衛以北左陣ニゝスベテ舎人ノ時ハ庭上ニテ
駆使ノ事等ヲ役スルナリ内舎人ハ宮中ノ雑事ニ奉仕大舎
人ハ宮外ノ雑事ヲ勤仕スル事也

行幸の時御供をつとむる事を云　大舎人式曰凡車駕行
幸者舎人四番（以下二人為一番）供奉御輿長八人駄鈴四人並者ニ緋袍
白布袴若皇后有ニ行幸又供奉御輿長装束同前ニゝ御ニ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

ハ御稟ニ仍リ綱ヲ繫(ナツ)ニ四方ヘ是ヲ控ヘテ行リナリ御稟ノ動揺セサル為ナリ盛衰記ニ近衛官人御綱ノ佐トアル是ナリ

頭一人相当ハ従五位下ナリ其掌ル所ノ職員令ニ左大舎人頭一人掌ル大舎人名帳分番宿直假使容儀事ヲ大舎人ハ供奉之人ナリ故ニ長官歟ナリ其宿直ノ考ヘ或ハ假使トハ假使トハ休スルノ事使トハ仕フマツル事ニテ其上日ノ事ヲ下知シ又容儀トハ其立動揺(タチフルマヒ)行佐等ノ事ヲ考ヘ知テ其ヘノ公役ニ宛ルナリ分番宿直ノ考ヘ神祇祐ノ条ニ注セシト同シ故ニ爰ニ畧スル上ノ事則チ上ニイヘル宿直のことをさすなり令ニ又くわしくト

ルノ義ナリ

屋ニ下地ノ者醫陰ノ官人ナドヲ當ラセ給フ(ヘシ)官職秘抄云大舎人頭可ㇾ令ㇾ諸大夫任之近代諸道者任ㇾ之云々諸道トハ醫陰等ヲ云フナリ

助　一人相當ハ従六位下ナリ掌ル所頭ニ同シ和名抄云次官

寮曰ㇾ助(和名須介)

権助一人相当ハ助ニ同シ

本寮ヲ挙スル時ハ助ニ同シ

トハ則大舎人寮ノ事ナリ　大舎人頭ヨリ権助ニ任セラル

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

ベキモノヲ撰テ中務省ヨリ官ヘ申テ奏ヲ経テ仕
セラルヽヲ本寮ト奏セモ又本寮ノ挙ト云ヒ十リ今ノ世ニ
掃部人ト云ヘル類ナリ

図書寮　中務ノ被管ニテ禁裏ノ西北武徳殿ノ北廂寮
アリ和名抄ニ不美乃豆加佐ト訓アリ諸ノ史籍ヲ掌リ
テ内裏ニ供奉スル官ナル故ニ天平二年八月ニ官号ヲ改テ内史
局ト云ヘリ同八年九月旧号ニ復シテ又図書寮ト改メラレ
タリ

経藉図書仏像紙筆墨のりとをさとる

経藉図書ハ職員令ニ云フ五経六藉河図洛書ノ事ニテ五経
ハ周礼周易楽記尚書毛詩ナリ春秋ヲ加ヘテ六籍ト云ヘリ
河図ハ伏羲氏ノトキ神龍図ヲ負テ黄河ニ出今八卦ト云ニ是
ニ法リタルナリ洛書ハ帝堯辟ノトキ神亀負テ書出ス
者ニ朱字ノ符アリ洛書ト云是ナリ又集解ヲ案ニ古記ニ曰経ハ
五経籍ハ六籍図書ハ有図之書トアリ（此説是ナリ）仏像ト云宮中ノ
所作仏ナリ京中ハ云蕃ノ堂ナレ共宮中ノ仏事内典
ノ事ハ当寮是ヲ掌リ又紙筆墨ノ類ハ経藉内典ノ類ヲ
写ヒ又仏像経巻ヲ表装スル等ノ事ヲ知ルニヨツテ是ヲ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

司ルナリ 職員令ニ曰サナリ今其大畧ヲ注スルナリ

今ト混ル紙ヲトハ此寮ヨリ造ルヲ以テ云ヘリ 仰本紙屋ノ宿屋ニ作ルハ非ス紙屋ト改ムヘシ拾芥抄云紙屋院書司所在ノ野宮東是古ヘ書寮ニテ紙ノ造ラセル所ナリト今紙ヲ紙ト云ハ文書草稿ノ料トス宿トハ子細ナスルト云義ニテスキ返スノ反宿紙トイフモノナリ是ハ当寮ニテ反古ヲ漉返シテ紙ヲ造リナリ故ニ其紙ノ色薄墨色ナリ天工商物ニ還魂紙トイフモノ則漉返シナリ

頒 一人相当ハ従五位上ナリ

掌ル 上ニ見エ権官ナシ官職秘抄ニハ権官ヲ置レタル例モアリ

地下ヨリ従五位ニ至ヲ云ヘリ 子細不及注文ニ

助 一人相当ハ正六位下ナリ

五位六位ハ従ニ任ス子細不及注文ニ

内蔵寮 中務ノ被管ニテ堀河ノ西近衛ノ南修理職ノ東ニ寮アリ 和名勅ニ宇知乃久良乃豆加佐ト訓アリ寮ハ官舎ニテ内蔵ハ別所ニアリト見エタリ今其所ヲ考ルニ洩セリ古語拾遺ニ至後磐余稚桜朝ニ三韓貢献変世無絶斎蔵倍建内蔵以収官物ヲ云ヘリ是宮中ニ金銀宝貨錦綵ヲ置ヒタル

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

庫藏ノ始ナリ此後諸國ノ貢献多少年代ヲ歴ルニ随テ数多品ナルニヨテ大藏ヲ建テ、二國ノ貢物ヲ収メラレシヨリ大藏ノ事ハ次ノ大藏省ノ條注ス故ニ天下ニ三藏トヲ云ハ斉藏内藏大藏ナリ稚櫻朝ト云ハ右神帝ノ御事ナリ

令銀珠玉等後ヲつゐとる國ヨリ貢ク所ノ金銀或ハ宝器珠玉ノルイ錦綾羅等ヲ内藏ニ納メテ其出納監撿等ノ事ヲ掌ル也

又天子即服ヲまとふする所ノ御服同進子細ハ別ノ如シ又中宮東宮ノ年中ノ御服臨時ノ御服

ヲモ悉ク当寮ノ掌リナリ（延喜内藏寮ノ式ニ見ヘタリ）且又諸神ヘ奉ラル幣帛供神ノ物ヲモワカサドルナリ見亦内藏式ニ見ヘタリ

畧テ此当代内藏寮ノ掌リモ大凡右ノ如シ年中月毎ノ御装束又ハ諸神ヘノ御幣物（伊勢加茂日吉等）皆当寮ノ掌ル所ナリ

頭一人相当ハ従五位下ナリ当寮ノ頭ハ御服ノ事ヲ掌リ且御膳ノ事ヲ知リテ御厨司所ノ別当ヲ兼補ス等事禁中ニ方ノ重職ナリ

ワ従四位の殿上人是ヲ任ズ又ハ侍従ヲ兼ル人ハ任ズ（職原抄ニ掌ニ御服

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

等事ノトキニ又世俗ノ玩ニ妻室ニ皐ノ人ハ之ニ任ゼストアルモ其重職ニ在事ヲ挙テ云モノナリトアルモ他ノ寮頭ヨリ膳ニルノ摺ナリ当寮ノ頭ノ御服ノ事ヲ掌ル事ハ今式等ニ挙ラレタルカ如シ近代山科ノ家業トシテ御装束調進ノ事ヲ掌リ玉フ依テ必内蔵頭ニ任シ玉フナノ故ニ他門不任之其調進ノ事アルニ依テ着御ノ事ヲモ並知リ玉フナリ去レハ当代衣文ノ業ハ高倉ト山科ト両家ノ業ト成リタルナリ又御膳ノ事ヲ知ルトアルヲ古注調ヘルハ内侍所ノ供神物即位始四十合毎月一回七合調進ノ事禁秘抄ニ見ヘタリトアルヲ又齋宮御禊ノ日内教坊舞妓ノ奉ル饗女房元三ノ餐ノ事当寮ノ掌ル事江次第ニアリト云ヘリ嘉樹案此ニ説非ナリ内侍所ヘ奉ルハ神供ナリ舞姫ノ餐女房饗共ニ天子ノ御膳ニアラス然レテ掌ル所当寮ノ頭ハ宮中侍御ノ重職ニテ常ニ天子ノ御上ヲ蒙ル支アルニヨリテ御厨子所ノ別當ヲ並補シテ尋常ニ御膳催等ノ支ヲ掌レリ此故ヲ以テ御服御膳ノ事ヲ掌ルト云ヘルナリ深ク考フルニヨリテサマヲ異ニ殊ニ人ヲ撰ミテ御ケリ職原抄云世俗玩妻室ニ皐人不任

ガラス使用

之知御服支故也ト云ヽ是又世俗モカリ云カ如ク重職タリ云事ナリ

権頭　一人相当ハ前ニ同ヒ

地下ノ五位ヲ以テ任ス昔ハ多ク官ニ依テ当ヲ任セシナリ

官職秘抄云内蔵権頭可准諸大夫任之無其人則不任之トアリ

諸寮ノ権頭ヨリ殊ニ重キ任ナリ職原抄モ諸寮ノ権頭中内蔵木工左右馬殊為重也トアリ

近代ハ窮零落ス當代官ノ掌リノスヘキ故ノ歎辞ナリ

助　相当ハ正六位下是大同三年七月ノ定ナリ今係ハ従六位上トアリ

是ヲ地下ノ五位六位今ハ不及沙汰事ナリ官職秘抄内蔵助経蔵人式部民部ノ丞ノ五位ヲ二ノ道ノ者任之云云一道ノ者ト八醫道陰陽道ノ類ヲ云其ノ道ノ者ト云事ナリ諸道ヨリ職原抄ニハ醫陰ノ二道任ス上トアリ當官ハ権頭権頭等自ラ御服ノ事ヲ司リ又ハ御厨司所ノ別当等ニ補シテ其重キ掌リハ助允等ヘノ渡リ至ラヌヘシ助ノ掌ル実無キニ似タリ古ハ任叙ノ道ニ厳アリテ諸寮ノ助ヨリ蔵人ヲ任テ式部丞民部丞等ヨリ至リ夫ヨリ叙爵セシ事ナリ然ル任

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

叙ノ道スメレメルエヘニ今ハ沙汰ニ及サルト書玉フモノナリ職寮
抄ニ内蔵助ハ勤仕賀茂祭内蔵使者ナリトアルモ当官ノ助
ニヨテハ其職掌無キカ如リニテ漸リ此内蔵使ノミニ勤仕
ルト云ヘル文ナリ

按ニ親房卿職原抄ヲ按セラレタルトキハ誠ニ天下騒劇ノ
祭ノ式モナキ事勿論ナレモ乱逆以前ニテハ祭ノ式モ行ハ
レタルハ全ク一朝ノ乱逆ニヨテノ廃式ナルユヘ國家治平ノ
テハ爰ニ復スヘキノ儀ヲ深テ当寮ノ助ノ勤仕ノ内蔵使
上ノ事ヲモ有カ如リニ書レタルモノナラン 然ルニ当時(これより)ノ(頃ナリ)

漸リ治世ノ始メナルニ未タ其祭モ不行事ノ歎息シテ今
ハ沙汰ニ及ヒサル事ナリト書玉フモノナルヘシ

権助 一人相当ハ上ニ同ヒ其掌ル事任スルノ道モ亦前ニ同シ文
俄子細ナシ不及注

縫殿寮 中務ノ被管当寮ハ上東門ノ西ニテ内蔵寮ノ
東ニアリ和名抄ニ奴比乃豆加佐ト訓アリ令條ニハ縫部司
内染司トアリヒラ大同三年正月両司ヲ止テ当寮ヘ併セラル
衣服ヲ裁縫事ヲヒラふなり 縫殿寮式ニ四季御服
依前件年依数従内蔵寮受之准例染ノ縫ノ月別一日ト

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

十六日ト両服巧ノ分ヲ供進ス若数不等者上服加之（不等ハ不ヘハ数廿九ハ一両ハ十五）
（十六日ニ而ト供進ス）ノミ又元日御礼服前二日ニ受内蔵寮ニ熨倫ヲ付ル
本寮ニ云凡ソ縫ヲヘキ衣服ハ主上并中宮ノ御服ハ采詰官并
宮人女嬬ホノ禄ノ服或ハ鷹飼犬飼ノ服マテモ当寮ニテ
裁縫調進スル事ヲ掌ル又大刀ニ内染司ヲ保セラレタル深ハ
深メ調ル事ヲモ一切ニ下知ス其深色ノ事モ当寮ノ式ニ具
サニアリ

頭　一人相当ハ従五位上ナリ延暦十八年七月昔ノ定准ニ
大寮セラレノ事令集解ニ見ヘタリ官位令ニハ小寮ノ定ヲ
従五位下トアリ職員令云掌女王及内外命婦宮人名帳考
課及裁縫衣服ヲ纂組ノ事ヲ当寮ノ頭女王ハ下ノ名帳考課
ヲ知リ掌ル事ハ内侍司ヨリ此寮ニ送リテ当頭ヨリ夫ノ考
定メ申給ニ申スナリ是ハ内侍司ニ男官ナキ故ナリ此ルニ
縫女ト采女ノ考課ハ各本司ニテ直ニ中務省ヘ申スナリ
（本司ト云ハ内侍司ト縫司トヲ云ナリ）
或問采女ト縫女トハ如何ナル故ソヽテ本司ヨリ直ニ中務省ヘ
申ニヤ殊ニ縫女ノ功課ヲ考ル支ハ裁縫ノ事ニ預ルモノナ
レハ他ノ女司ト等シカラス更ニ当寮ノ預リ知ヘキ事也荅

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

日女王以下内外命婦宮人ハ諸國ノ貢女ニアラス各其出目
或ハ皇親或ハ卿郷諸臣等ノ女ニノ其品繁多ニテ員数モ
亦数多旦女嬬下仕等ニ至ルマテ考課ノ甲乙過差ヲ考
ル事内侍司ノ手ニ及ビガメキユヘ各其上日宿直等ノ名帳
ヲ造リテ當官ノ頭ヘワタシテ考課甲乙等ノ事ヲ考
ヘセシムルナリ縫女ト采女トハ其品モ一向ニ令リテ各本司
アルハ本司ヨリ縫女ハ内侍司ニテ采女ハ内侍ヲ云ヘ
ヘ定ルニモ及ホルモノカ共舞妓モ其考課ハ内教坊ノ別当
考ルニヨリ是又当寮ヘワタラサルト見ヘタリ

○又尚当寮ニテ女王以下女嬬等マテノ考課名帳等ノ更ヲ
司ルハ如何ナル故ニヤ答曰凡ソ後宮以下ノ女事ハ中務省
ノ知リ掌ル事ナリ然レ氏中務省ハ宮中ノ事一向統領ス
レハ各被管ヲ分ツテ是ヲ掌ラシメ其大綱ヲ知ルナリ然
ニテ後宮ノ事ハ中宮司ニテ是ヲ掌リ采女ノ事ハ宮内省
ニテ掌リテ被管ニ采女司アリ然ルニ女王以下宮仕ノ女ノ更ハ
内侍司知ルトハ云ヘトモ男官ニ有ラサレハ件ノ名帳考課等ノ細
ヲ司リ知ルモノナレ仍テ中務ノ被管ノ内ニテ当寮ニ衣服
裁縫深色共ニ掌ルナレ全ク女巧ノ事ナルニヨリ其故ヲ改テ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

當寮ヲ婦女ノ事ヲ掌ルナリ

地下ノ四位五位近代ハ是ニ任ス之ヲ印本是々ノ二字ヲ脱ニ補ヒ入ルヘシ官職秘抄曰可然諸大夫任之近代諸道有任之徒日本後紀ニハ諸王ノ五位名人任セシ事モアリ是ハ希也事ニテ任例ニハアラス然ルニ近代地下四位五位ノ任スル事ニナリタルヲ歎息シテ近代ト書玉フナリ

助　一人相当ハ正六位下ナリ掌ル事頭ニ同シ

是ヨリ今ヲ下ノ者ハ皆ナ官職秘抄曰可任良家子ト云々良家子ト諸大夫侍等ノ家系語代ト又職原抄曰諸大夫六侍任之トモ然ルニ当時良家ト称スヘキ者ハ下ノ如ナノ侍ヲト書玉フナリ是ヨリ今ヲトアルハ此時任スヘキ諸家ノ侍ノ六位掌任スル人ニ今

叙ノ零落ヲ歎息ナリ

権助　一人相当又司ル事任ル人助ニ同シ

前ニ同ー　注ニ及ハズ

陰陽寮　中務ノ被管ニテ當寮ハ侍賢門両籠物局ノ南ニアリ和名抄ニ於年夜宇乃豆加佐ト訓アリ天平宝字八年ニ官号改易ノトキ大史局ト為メリシカ同八年九月旧名ニ復シテ又陰陽寮ト称セリ異朝ニテハ大史ト云ヒ或ハ大史曹

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

大史局ナトモ云ヘリ宋朝ハ司天臺ト云ヘリ故ニ常ニハ陰陽家ノモノヲ指テ司天ノ掌ト云ヘリ

天文暦数風雲犯氣ヲ考ふる職ナリ卯本暦ノ下数字気ノ下色字ヲ脱ス補フヘシ職員令義解云渭天文者日月五星二十八宿ノ也暦数者計リ日月之度数ヲ而造暦授時也気色者風雲之気色也言ス二雲之色視其吉凶候十二風気知其妖祥ヲト云ヘリ五星ト八東方歳星南方栄惑中史鎮星西方大白北方辰星ナリ廿八宿ハ東方角元亢氐心房尾箕南方斗牽牛女虚危営室東壁西方奎婁胃昴畢觜觿解向参北方東井輿鬼柳七星張翼軫ヲ云ヘリ五雲ハ五色ノ雲ナリナ二風気ト八十二月之一日ヽヽ是ヲ考ヘ天地ノ和余ヲ察シテ候ヲ事ナリト云五雲十二風気ノ事ハ周礼保章氏ニ備サナリ以上陰陽家ノ職ト云掌トル事ナリ

天地変異ヲ奏聞寸ヲ密奏トとゝのふ職員令云陰陽寮ハ人掌天文暦数風雲気色奏聞ノ事ハ凡テ中務省ニ附属スル官ハ皆直ニ奏スルヲ云ヘリ斯ハ密封ヲテ直奏スルノ大事ナシ各宮中ノ小事ヲ司ルニヘニ密奏ニ及サルナリ天文密奏ノ事ハ國家ノ変異ニカヽリタル大事ヲ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

奏スルユヘ殊ニ是ノ奉ヲ称スルナリ古ヘ苍山院宮中ヲ潜幸アリテ御玄家在セレトキ安部晴明カ密奏セシ類國家ノ大事ナリ

司天ノ省ハ毎夜星ヲ伺ヒ異ヲ司天臺ト云ナリ司天臺俗ニ云天文臺ナリ事物紀原曰ク几島氏ト夏曰ク大史ト隋ニ名ク謂フ曰ク大史焉ト煬帝改テ監ト唐曰ク局ト乾元元年曰ク司天臺ト後復タ曰ク大史ト宋朝ニ来亦曰ク司天臺ト神宗改官制ノ復タ大史為ト云ヘリ

頭一人相当ハ従五位下ナリ権官ナシ

陰陽道ノ輩賀茂安倍ノ為家アリ此ヲ以テ陰陽道ノ者ヲハ賀茂家安倍氏ノ両家ヲ云職原抄曰ク天文暦数普者一家兼ネ両道而賀茂保憲ハ暦道傳其子光榮ニハ天文道傳ヘ其子安倍晴明ニ自是ヨリ後両道相分ル云ヘリ賀茂ノ家ハ新撰姓氏録ノ条ニ孝霊天皇皇子稚武彦ノ命之後吉備ノ称ヨリ出ツ右大臣吉備公元正天皇霊亀年中入唐シテ五経三史陰陽暦数ヲ傳ヘテ帰朝ス孝徳ノ朝ニ姓ヲ賀茂氏ト云ヲ夫ヨリ七世後裔保憲奉勅造暦ト云ヘリ又安倍氏ハ孝元天皇ノ皇子大彦命ノ後左大臣倉橋麻呂九世ノ孫晴明賀茂保憲ニ従テ天文道ヲ学ビ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

家ヲ傳ヘテヨリ代ゝ天文道タリ保憲マデハ賀茂ノ家ニテ西
道ヲ兼司サドリシカ晴明ヨリ安倍ニテ天文道ヲ安信家ニ傳ヘ曆道ヲハ則其子光栄ニ相傳セシヨリ
兩家トナリタル ナリ本朝天文曆道ノ始ハ推古天皇十年十月
百濟觀勒来テ天文地理ノ書並ニ曆書方術ノ書ヲ貢セシ時陽
胡史相王陳曆法ヲ學ヒ大友村主高聰天文ヲ學ビシトナリ且曆
書ノ始テ渡リシハ欽明帝ノ朝ナリ去レド本朝ノ人ノ曆道ヲ學ヒ
シハ椎古ノ朝ニ始マリシリ日本紀ニ見エサナリ当代ノ任モ又如斯安倍
賀茂ノ兩家ニテ任ズルニ他門ノ任ズル事ナキ官ナリ然ルニ近代

安倍家ニ土御門家相続シテ世ゝ堂上ナリ賀茂ノ家ハ地下ナリ
千今ノ世幸徳井ノ家其流タリ故ニ今代モ曆寮ノ頭ハ兩家ヨリ
任ズレド天文博士ハ必土御門ノ家ニ任ジ曆博士幸徳井ノ家ニ任シ
来レリ堂上地下ト栄枯地ヲ易ルト云ド其家系ノ業ハ猶存シテ
是ヲ天ハ其事実ニ当道ノキボナリ
殊ニ名誉重代ヲ尊ブベキ文義ハ注ニ見ルガ如シ

助 一人相当ハ従六位上ヨリ堂上ノ事頭ニ同シ
是モ陰陽道ノ官ノ如シ注ニ及ハズ文義明也

権助 一人相当上ニ同シ其余曆ノ事ナシ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

陰陽博士　一人相当正七位下ニテ　陰陽寮被接官也
　　又不皆被接ヤリ
　　其ニハ不注ヤリ
當道の業の内ニ於テ仁愛ヲ以テ
ハ陰陽生ヘ其陰陽ノ義ヲ教ヘ導ク官ナリ
権陰陽博士　相当又任スル人等掌ル事ヲ前ニ同レ
陰陽師　相当従七位上職員令曰陰陽師六人掌占筮相地ノ義
解云占筮数知来曰占也筮者蓍曰筮也相視也職原抄云
未滿不任之歟トアリ見任一覧ヲ考ルニ当代モ任人不見
暦博士　一人相当ハ従七位上ナリ

暦ヲ修ル業用ヲ掌テ任ヲ
之其家ニ非サレハ任ニ堪ヘカ当代賀茂家ニテ幸徳井任之他人
ハ任スル事ナシ是ハ暦ヲ造リ又暦生ニ教ル事ヲ司ルナリ
権暦博士　子細上ノ如シ
天文博士　一人相当ハ正七位下ナリ職員令曰掌ル候天之気色ヲ有
異変ヲ密封シテ及ヒ奏天文生等ニ官職秘抄曰堪其器者任之天文
異アルトキハ密封シテ直奏ノ事（ハ始ニ注ス）スルナリ又天生ニ教ヘ導ク
事ヲ掌ル二ヘ其道ノ器ニ非レハ任シガタキ職ナリ
司天ノ一ノ官ニ任ス司天ハ天文道ノ支ナリ上ニ見ヘ今ハ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

安倍家堂上トナリテ陰陽道ヲ摠括シテ天文博士ヲ董ラル
尤公卿ノ位ニ至テ七是ヲ董子ラル、変流例ナリ
密奏ノ宣旨ヲウケテ変異ヲ奏聞セントスル(うのべ)ヲ蒙ル禁秘抄ニ密奏者無有天変奉奏書司天先参
内覧人許執柄覧之加封返(もど)サバ則司天給之持参内裏於殿
上召申事由ヲ蔵人取之付内侍天子覧之執柄加封者深恐
外見之故也封上書ニ執柄尼名ヲ云々又云殊大事変出現之時、
不能進奏剣、衣(衣ヲ剣ニストハアハテトスト云ヲ変ナリ)恥奉(詩注ニ表裳ヲ博剣スト云事アリ)陰陽寮
日密奏料紙筆墨等臨時ニ申(もう)セ省ニ云々(尚ハ中務省ナリ)三代実録曰天安

二年八月廿九日陰陽寮奏云夜有星入紫微宮赤如炎火
長十余丈尤天文風雲気色有異陰陽頭及天文博士密封
奏聞云々密奏ノ宣旨ハ董ラル異宣旨ヲ下サル、事ニハアラス
権天文博士ニ于細上ノ如シ

已上ヲ以テ考フルニ一本リヌヘキ輩ト、是又天文
道ニ堪タル人其業ヲ得ザレハ任セザル事ナリ上ノ博士ニ同シ
漏剋博士二人相当ハ従七位下ナリ職員令曰漏剋博士二人掌
率守辰ト、伺ニ漏剋之節ヲ守辰ト掌ル伺ニ漏剋之節ヲ以

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

時撃ツ鐘敷ノ云ヽ如字呂宇古久ト称スルナリ一説ロウコツト濁テ
訓ズトイフノカハ恐クハ非ナリ牢獄ニキレテ悪シ、
ヒシ漏尅ヲ以テ昼夜ノ時ヲ伺ヒ知ル即本漏ノ下
尅字ヲ脱ス補ヒ入ヘシ漏剋ハ晝夜ノ尅限ヲ量ルモノニテ
今ノ世ノ常香盤ト同シモノナリ其罷ノ標擧ハ銅ノ壷戸
リテ夫ヘ水ヲ一盃入又漏剋ノ箭トテ刻ヲ百付ケタル
箭アルヲ件ノ壷ヘ立置キ又其銅ノ壷ニ退水孔トテ一
滴ツヽ瀝リヲ漏ス穴アリ其水ノ漏ルニ随テ箭ノキザ一
尅ミツヽアラハルヽヲ一尅ト云ルモノナリ守辰丁ハトキ

モリト訓シテ右ノ銅ノ壷ヲ伺ヒ見テ箭ノキサミノ数ヲ
考ヘテ或ハ時ノ鐘ヲ打セ或ハ時申ヒトテ今何時ト云ヒ
ヲ内竪ヘワヒラ奏スルナリ後世漏剋モナケレハ此時奏ノ
事モ蔵人指斗ヒテ奏スル事ニナリ名由禁秘抄ニ見ヘ
タリ

按ニ漏尅ハ黄帝ノ時始ル車區ト云臣是ヲ造ル由古今
原始ニ見ヘタリ周ニハ挈壷氏官是ヲ掌ル挈壷氏
ト云ハ始テ漏尅ヲ造ル人ナリ其名ヲ以テ官名トセリト
風俗通ニアリ日本ニテ漏尅ヲ製造アリシハ奇明天

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

皇六年立月皇太子（天智帝）ナリ　初造漏剋使民知時トナリ
又天智天皇十年冬十月遷漏剋於新臺始行候時動鐘
按始用漏剋ト云ハ是皇太子ノ御製セラレタルノ
漏剋ナリ　禁秘抄云丑ノ剋ヨリ明日ノ分ニタリト杭ヘ仆
ノ箭ノ事ナリ今ノ世ニ何ノ剋トモ右箭キサミノ
キザノ事ナリ此余本朝文粋ニモ漏剋ノ事委ク見ヘ
タリ
漏水のうつろひまりて時をつくる礒もり
前ニ注スルカ如シ

権陽剋博士　一人相当司ル事前ノ如シ
内匠寮　中務ノ被管ニテ藻壁門ノ北左兵衛府ノ南ニ当
寮アリ和名抄ニ宇知乃多久美乃豆加佐ト訓アリ令外ノ
官ナリ職員令ノ集解ノ釈ニ曰神亀五年七月廿一日新置
内匠寮管中務省一頭一人助一人大允二人少允二人大属
一人少属二人史生八人直丁二人駈使丁二十人令外增置補闕
少其使部汉上考選禄料ハ同木工寮ノ項ニ附テ司ニ次為ニ恒寮
即チ入中務省管内之員ニ云ヘリ
物をつくる事をつかさどれや内匠寮式ノ考ルニ毎年元正

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

御即位及蕃客朝参諸節會等ノ日高御座ヲ装飾シ銀
器漆器革筥御箱御鏡屏風円印外印諸司ノ印諸國印
御帯御帳臺盤巻盤飯椀御輿手車五月六日ノ毬子大
寒ノ日土牛童子ノ塑像ノ如キテ斗帳ノ類等ヲ造ル事ヲ掌
ル事多ケレハ其大抵ヲ書スルナリ 禁秘抄云東旋竹臺近代木工寮役欤天
徳内匠寮作ル冥衆竹架云々九清涼殿及滝口透垣等皆木工
寮役他殿舎修理職役也内匠寮近代如障子破損許
奉仕欤昔与今異云々
員一人相當ハ従五位上ナリ 権官ナシ

是七堆ノ司ニ属シ掌漆両道ヲ分チ為ル事ヲ掌ル 職原抄云諸
大夫及諸道五位等任之トアリ 諸道ト云ハ四道并醫陰陽
道ナリ
今ノ造リ物奉リヲトいふぬるより印本ヨリ伝ヘヤ作ル回改
造物ハ銀器漆器弐ハ高御座ノ上ニ立ル鳳像又鏡幡ノ類
天蓋慢承塵柳営其余ノ雑器品々ナリ是又内匠弐アリ
事多ケレハ其大抵ヲ註ス当寮ノ掌ル処上ノ條ニ注スル如シ
殿上ノ装飾或ハ雑器物ナリ 延ノ今ハ造物奉行ナトヲぬな
ドト書玉フモ是当寮ノ掌リノ実ナキ事ヲ書玉フモノナリ

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20
ガラス使用

近代ニ至ツテハ凡御調度ノ類内外ノ御器雑器等ニテ調進方ト称シテ諸寮諸司ノ判官(ぜう)家例ヲ定テ調進スルモノ多シヨリテ令式ノ掌ル義ト違ヘル事ノミナリ蘆ヘハ御服ノ事ハ内蔵寮頭ノ調進ニテ山科家内蔵頭ニ任シテ世々家ノ調進ト定ルト言ヘトモ若山科家故障アレハ当倉家ヨリ調進アルノ類ナリ其余出納ノ官モ代々家ノ調進ト定テ内匠寮ノ掌ルベキ事共多クノ是ヲ調進スト一ト枚挙ニ暇アラズ又行事官モ調進物多クノ他ノ寮ヨリハ手ヲ空フスル事ノミナリ(ナリ)ナレ世ノ沿革ト云ナガラ剰リアル事ドモナリ

助　相当ハ正六位下ナリ掌ル事頭ニ同シ

六位以下是ニ仍ル　職原鈔ニハ諸道ノ六位任之トアリ其余

子細不及注

百寮訓要鈔別注二巻畢

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

特1000
20

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用

国立国会図書館　百寮訓要抄別註 9巻　特1000-20

ガラス使用